

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】  
 ・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子

発行者：校長 岡田 達也



～ えがお かがやき がんばる 学校 がんばる えんだん「チーム北川」～

## 「友だちのよさに気づく目と心を育む！」



本校では、朝のさわやかタイムの時間を利用して、全校で『友達 ベリーグッド』という時間を設けています。これは、学年の枠を超えて友達のよさやがんばりを紹介し合うというもの。本年度最初の『友達 ベリーグッド』を25日(月)に実施しました。今回は、19名の子が前に出て、自分が見つけた友達の「ベリーグッド」を紹介してくれました。紹介された子は、その場でみんなから大きな拍手をもらい、とってもうれしそうでした。そのあと、みんなで

「どんな人が好きですか」を楽しく歌い、友だちのよさを共有しました。

この取組は、本校の特色でもあり、とても大切な意味があります。

子どもたちが学校生活や通学時で見つけた友達のよさの具体的な姿をカードに書いて伝え合うことで、こんなことが起こります。

ア) 友達によさを認められ伝えてもらうことにより、自分のよさに気付くとともに、自分も友達のよさを見つけようとするようになる。

イ) 友だちからよさを伝えられると、自分の良さに気づき、自尊感情が高まり、意欲的になる。

ウ) 自分と友だちのよさを共有することで、「友だちはいいな。」と感じ、友達のよさに目を向けるとともに、よさを積極的に見つけようとする。

エ) どんな視点で友だちのよさを見つければよいか、どのように伝えたらよいかを考えたり、話し合ったりすることを通して、友達のよさの見つけ方や伝え方を学ぶことができる。

本校では、集団づくりの観点から、子どもたち一人一人がよりよい人間関係を構築できるように、異年齢集団「なかよし班」活動を大切にしていることは既にお伝えしました。この取組も同じ意味があります。集団の中での様々な人間関係を経験させ、互いのよさを認め合う場を設け、友だちから「がんばっているね。」「すごいなあ。」「やさしくしてくれてありがとう。」と認められれば、自分の新たな可能性に気付いたり、喜びを実感したりすることができます。こうした取組を継続していくことを通して、一人一人の子どもよさを認め合う集団が育っていくと考えています。

このことは、4月から機会あるごとにお話している「魅力のある学校」づくりとも重なります。特に、子どもたちにとって「いきたい」「楽しい」と思える魅力のある学校・学級とは、①「わかる」「できる」喜びを実感できる、②自尊感情を高め、自信や意欲がもてる、③温かな人間関係の中で互いに支え合うことが実現される学校・学級だと考えています。

魅力のある学校・学級づくりは、「言うは易く行うは難し」ですが、これからも一歩ずつ全教職員で取り組んで参ります。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

